



七つ星

平成 30 年度 第4号
発行 平成 30.7.2

〒337-0012 さいたま市
見沼区東宮下 1-1-1
Tel 048(685)0603

輝く笑顔 誇れる学校 ～さいたま市立七里中学校 学校だより～

7月の生活目標：1. 一学期の締めくくりをしよう 2. 充実した夏休みを送ろう

「基礎・基本」～なんだ、体育の授業や部活動でやっているのと同じじゃないか～

校長 榎山 正春

6月14日、4年に一度のサッカー・ワールドカップ・ロシア大会が開幕しました。直前になって監督が交代した日本代表は下馬評を覆して見事に予選リーグを突破、決勝トーナメント進出を果たしました。西野 JAPANには過去最高位のベスト16を超えて新たな歴史をつくってもらえるよう、応援したいと思います。



さて、日本チームの活躍で一躍“時の人”となった西野朗監督。そのプロフィールはテレビ番組などでも繰り返し紹介されていたのでご存じかとは思いますが、96年のアトランタ五輪で王者ブラジルを相手に大金星をあげた『マイアミの奇跡』の時の監督だった方です。実は五輪出場を決めるアジア最終予選の直前の2月、西野さん率いる日本代表チームが当時私の勤務していたマレーシア・クアラルンプール日本人学校に来てくれたことがあります。何と、学校のグラウンドが合宿を張る代表チームの練習会場になったのです。



一流のホンモノを間近で見られる・・・こんないい勉強の機会はめったにあるものではありません。体育の授業は練習見学に変更、教務主任だった私は“連絡係”の仕事とミーハー気分と半々でせつせとグラウンドに足を運んだのですが、あるとき一緒に見ていた同僚がこうつぶやきました。

「なんだ、体育の授業や部活動でやっているのと同じじゃないか」

言われてみれば、本当にその通り。もちろんスピードやパワー、正確さは生徒たちとはケタ違いでほれぼれするくらい素晴らしい。けれど、やっていること自体は奇をてらうものでも何でもなく、「基礎・基本」なのです。一流、超一流は、やはり土台がしっかりしている、しっかりしているからこそ一流、超一流になれるのだなあ、そして「基礎・基本」をそのレベルまで高めるまでには選手たちは相当な練習を重ねてきたのだろうなど感心したことを今でもよく覚えています。



近年、教育の世界でも「基礎・基本の確実な定着」という言葉がよく使われます。では、「基礎・基本」とはどんなものなのでしょうか？見方・言い方はいろいろあると思いますが、知識や技能面に限らず体力面や心情面なども含め、「基礎・基本」＝「身につければ一生使えるもの、役に立つもの、困らないもの」という押さえ方を私はしています。そしてその多くは義務教育段階で身に付けられるものだとも思っています。生徒たちには基礎・基本の大切さをこれからも機会をとらえて繰り返し教えていきたいと思っておりますので、ご家庭でもご理解、ご指導のほど、よろしく申し上げます。

6/18の大阪府北部地震について

このたびの震災で亡くなられた方々、被害を受けた方々にお悔やみとお見舞いを申し上げます。

私たちにできる支援は何か、また、私たちが被災したときに被害を最小限に抑えるにはどう備えるべきか、改めて考えなければいけないと思います。ご家庭でも是非話題にしていだきませうようお願いします。